

12. 沖縄（地域別調査機関：一般財団法人南西地域産業活性化センター）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連  (沖縄)	◎	コンビニ（副店長）	販売量の動き	・来客数、販売量共に前月末より増えてきており、夏休みに突入し期待大ではあるが、直近の新型コロナウイルス新規感染者数の影響か、3連休後の動きが鈍化傾向である。
	◎	観光型ホテル（企画担当）	販売量の動き	・ホテルの4月の販売室数が前年比1%増加なのに対し、9月の販売室数は前年比344%増加と、プラス幅が大きくなっている。
	○	百貨店（店舗企画）	来客数の動き	・前年よりお中元ギフトの動きが良い。新型コロナウイルスの感染状況は月末に掛け過去最高を更新し続けているが、国から緊急事態宣言などの発出がないことから、日常と客の動きは変わっていない。
	○	コンビニ（経営者）	お客様の様子	・家族で来店する客が目立って増えており、販売量は増えている。
	○	乗用車販売店（経理担当）	お客様の様子	・広告への反応も良く、そこまで暗い感じはしない。
	○	観光型ホテル（代表取締役）	来客数の動き	・宿泊に関しては、客室稼働率が50%まで増えてきている。3か月前は30%であった。飲食は昼食などが少しずつ増えている。ただし、宴会に関しては新型コロナウイルスの感染拡大の影響でほぼゼロに近い。
	□	一般小売店〔酒〕（店長）	販売量の動き	・新型コロナウイルス感染者数が増えているため、イベントや県による行動制限が出ていて景気は変わらなくなっている。
	□	スーパー（企画担当）	来客数の動き	・来客数の減少が顕著で、ここ2～3か月は同じ状況が続いている。県内の新型コロナウイルスの新規感染者数が、月後半から大幅に増加したことで、来客数や店舗運営に影響を及ぼしている。客の動向としては、来店頻度を抑え、極力外出を控える動きがみられる。店舗運営では、従業員の新型コロナウイルス新規感染者数の増加に伴い、チェックアウト業務や品出し業務に支障を来しており、営業時間の時短営業等に対応している。
	□	スーパー（販売企画）	販売量の動き	・商品の値上がりが進んでいて、それに伴い販売量が落ちてきている。単価は少し上がってきているが売上のカバーはできていない、また来客数も減少したままである。
	□	その他専門店〔陶器〕（製造）	来客数の動き	・数週間前までは良い予感がしていたが、新型コロナウイルスの感染状況がまたまん延していることにより観光客が減っているようである。
	□	旅行代理店（マネージャー）	販売量の動き	・新型コロナウイルス感染症の陽性や濃厚接触者になる人が増え、急なキャンセルが増えている。販売量も回復傾向ではあるが、売上も伸びそうで伸びていないのが実情である。
	□	住宅販売会社（代表取締役）	来客数の動き	・個人住宅の完成見学会を行っても、新型コロナウイルス感染症の影響か、来場者数が以前と比べ少ない。
	□	住宅販売会社（役員）	販売量の動き	・住宅見学者は一定数いるが、住宅金利の先高感もあり契約には慎重姿勢がうかがえる。
	▲	衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルス感染拡大による第7波と同時期に連休も終わり、また物価上昇、エネルギー価格高騰などが要因で一般市民は節約志向へと向かっているとみられる。
	▲	家電量販店（営業担当）	来客数の動き	・新型コロナウイルス感染症の影響がある。感染拡大による来客数の減少や、ロックダウンなどによる製造元の生産量の減少などである。
	▲	通信会社（営業担当）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの感染拡大により予約のキャンセルが相次いでいる。また一部商品の値上げがあり、買い控えが発生している状況にある。
×	その他飲食〔居酒屋〕（経営者）	来客数の動き	・7月第1週までは例年の75%ぐらいまで入客が戻り、期待が持てたが、また、新型コロナウイルスの感染拡大でどんどん入客数が落ち、今は、例年の10%台までに落ちている。地元のサラリーマンは全く動かず、観光客がちらほらという状況である。	
企業 動向	◎	－	－	－
	○	＊	＊	＊

関連 (沖縄)	□	食料品製造業 (役員)	受注量や販売量の動き	・夏休みに入り観光客数が増加し観光関連への売上増加が続いている。全国的に新型コロナウイルス新規感染者数が急激に増加しているが、今回は移動の自粛といったような影響はみられない。一方で生産者価格の上昇分の価格転嫁がまだ十分とはいえず中身は厳しい。
	□	会計事務所(所長)	それ以外	・円安で物価高となり、生活、消費行動の消極性が見受けられる。
	▲	窯業土石業(取締役)	受注量や販売量の動き	・民間工事、公共工事とも見積依頼は横ばいの状況だが受注件数は減少しており、工場稼働率も低下している。
	▲	建設業(経営者)	受注量や販売量の動き	・新規の契約が止まり、全くない。
	▲	輸送業(経営企画室)	それ以外	・新型コロナウイルス感染症第7波の影響で各社の発注数量が減少している。
	×	—	—	—
雇用 関連 (沖縄)	◎	—	—	—
	○	学校[専門学校] (就職担当)	求人数の動き	・前年同時期と比較すると、求人数及び学内説明会依頼数も増えている状況である。前月と比較すると少ないものの、減少幅が小さいこともあり良くなっていると判断している。
	□	人材派遣会社 (総務担当)	求職者数の動き	・求人広告を掲載しているが、応募が少ない。
	▲	求人情報誌製作 会社(営業)	求人数の動き	・3か月前の4月は求人数が多かったため、その時期と比較すると5%程度減少している。7月上旬は求人数が増加傾向にあったが、中旬、下旬にかけて減少している。沖縄県医療非常事態宣言の影響もあるかと推測している。
	×	—	—	—